

かみまち地域支え合い



第 8 号

2024.2

～放課後児童クラブ 地域貢献活動～

放課後児童クラブの子供たちから、小野田地区の一人暮らし高齢者の皆さんへ、歳末あったか弁当と一緒にメッセージを添えていただきました。

(関連記事は 3 ページに掲載)

り活動、お茶っこ飲み会やサロンなど地域の中のみなさんの活動を『地域のお宝』として紹介いたします。

生活支援体制整備事業第2層協議体

『無理しない、頑張りすぎない、長く楽しく続けるために』

高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、加美町では生活支援体制整備事業協議体を組織し、自分たちが無理なくできることについて話し合っています。

今年度からは加美町全域を対象とする第1層に加えて、より細かく地域の現状を把握し話し合うために、第2層協議体を中新田、小野田、宮崎の3地区に設置し、それぞれの地区に生活支援コーディネーターを配置しました。初回は地域の集いの場である、ミニデイサービス事業にスポットをあて、例年行われているミニデイサービスリーダー情報交換会を第2層協議体として位置づけ開催しました。



10月23日 小野田地区

- 達成感、満足感を大切にし、参加者の笑顔のために、できる範囲ですすめていきたい。



10月26日 中新田地区

- ミニデイだけでなく、子供たちとの交流を試みたい。
- 映画観賞会やスマホ教室などをやってみよう。
- ミニデイの送迎については検討が必要と思った。



10月25日 宮崎地区

- 他の行政区のミニデイ見学や情報交換会をしたい。
- ミニデイをあまり堅苦しく考えないで、自分も楽しめる場にしていきたい。

情報交換会では、ミニデイサービス事業の説明や、集いの場がもたらす効果について町から情報提供があり、その後、各地区担当の生活支援コーディネーターが進行役となり、グループワークを行いました。

グループワークでは、テーマに沿って情報交換、意見交換をしていただきました。参加したみなさんの熱い思いからたくさんの情報が飛び交い、予定時間では足りないほどでした。

終了後には、「他の行政区の情報を知ることができてよかった」「みなさんの意見が聞けてよかった」という声をいただきました。

今後の課題として次回に活かしていきたいとします。貴重なご意見ありがとうございました。

地域のお宝、見つけたよ！

《地域のお宝について》 支えあいや見守り



世代を超えて繋がる絆



『放課後児童クラブ地域貢献活動』

加美町社会福祉協議会では、毎年12月になると町内の一人暮らし高齢者世帯に対してお弁当をお届けする『歳末ふれあいあったか弁当』の配布事業があります。

今年度、小野田地区で配達したお弁当には、東小野田と西小野田の放課後児童クラブのみなさんが作成したメッセージが添えられました。

児童クラブのみなさんが心を込めて作ったメッセージ入りのお弁当を受け取った方の中には、「こどもたちの優しい気持ちが嬉しくて、お弁当を食べ終わった後も掛け紙だけは大切に保管しています」という方や、「嬉しくて思わず同じ一人暮らしの友達に電話して一緒に喜んだ」という方もいらっしゃいました。



もらう人のことを思いながら一文字ずつ丁寧に…

生活支援コーディネーターから “ひとこと”

お話を伺った高齢者のみなさんは一様に感激されていました。『人を想う気持ちが伝わって、たくさんの笑顔が生まれた』そんな素敵な活動だと思います。



完成

そして 配達



おうちの家さも
来たよ〜♪

あんだの家さも
来たが〜？





おしゃべりは続くよどこまでも♪ ふれあい・いきいきサロン『つるしかざり教室』



「結構忙しいのよ。朝の9時から夕方4時頃まで集中してやっているから」

「そうなのよ。おにぎりも食べなくちゃいけないしね」

「1日ずっとやっていて、終わってからでも、おしゃべりしているもんね」



視線は手元に定めたまま、手と口をフル回転させるメンバーさん



リーダーの永山てい子さん
「つい夢中になっちゃいますね」

今年度からサロン活動を開始した『つるしかざり教室』は5人だけの少人数サロンです。毎月1回、リーダーの永山てい子さんのご自宅に集まって、ちりめん細工や吊るし飾り等の手芸をしています。永山さんが指導して、メンバーさんが作品をつくる。

1つの作品を1日かけて完成させるまでやるのが基本スタイルなのだとか。メンバーは全員、南町行政区（中新田地区）に住む古くからのお友達。十数年前に永山さんが手芸を習い始めてから、興味を示した仲間が1人増え、2人増えて、昨年5人目が加わったのをきっかけに、サロンに登録することにしました。「南町のミニデイでは年に1回、手芸ボランティアをしたり、作品をプレゼントしたりして、結構喜んでもらっているんですよ」

趣味を楽しみ、おしゃべりを楽しみ、地域にも貢献する。何よりも、そんなにも時間を共有することのできる仲間がいるって、本当に素晴らしいし、素敵なことですね。



令和6年度ふれあい・いきいきサロン助成登録募集！

気の合う仲間と一緒にサロンを作ってみませんか？たまり場づくりに是非ご活用ください！

- 【種 別】・高齢者：参加人数の半数が65歳以上であること
・障害者：参加者に障害者（身体・知的・精神）が必ず1名以上いること
・子育て：未就学児を保育されている父または母で構成されていること
- 【世 話 人】1サロンにつき2名以上とし、うち1名を代表世話人（代表者）とすること
- 【人 数】1サロンの最低参加人数は5名（5世帯）以上
- 【実施回数】おおむね月1回以上の開催とし、年10回以上
- 【活動場所】参加者等の自宅や行政区の集会所、公民館等
- 【活動内容】お茶飲み、食事作り、レクリエーション、外出活動、季節行事、世代交流等
- 【助成金額】年間活動回数に対し助成金を交付します。（最長5年間）
・10～15回まで：15,000円 ・16回以上：20,000円（1～3年目まで）
※なお、4年目は10,000円、5年目は5,000円が上限となります。

詳しくは加美町社協ホームページをご覧ください。各地区社協事務局へお問い合わせください。



発行日：2024年2月1日 発 行：社会福祉法人加美町社会福祉協議会
〒981-4261 宮城県加美郡加美町字町裏320番地（中新田福祉センター内）
TEL:0229(63)2547 FAX:0229(63)2898 URL:<http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

※この広報紙は加美町生活支援コーディネーター業務委託に基づき発行しています。

